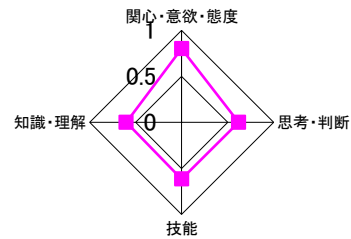


内容別・観点別の分析

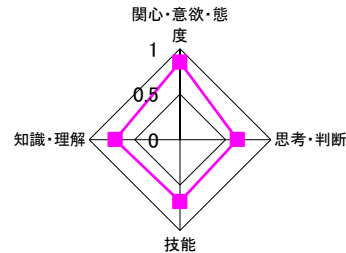
1年	観点別平均達成率
関心・意欲・態度	80%
思考・判断	62%
技能	62%
知識・理解	60%

定期考査及び7月までの指導状況の分析



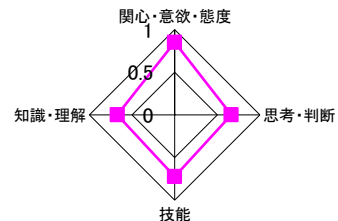
2年	観点別平均達成率
関心・意欲・態度	85%
思考・判断	63%
技能	68%
知識・理解	72%

定期考査及び7月までの指導状況の分析



3年	観点別平均正答率
関心・意欲・態度	85%
思考・判断	66%
技能	72%
知識・理解	67%

定期考査及び7月までの指導状況の分析



指導方法の課題分析と具体的な授業改善策及び補充学習等の計画

	指導方法の課題分析	具体的な授業改善策	補充的・発展的な指導計画
1年	<p>体力の向上を図るとともに各種目の基本技能を身に付けさせる必要がある。そのために体育授業の補強運動等で体力を向上させることや、各種目において要点を明確にした実践を行い、基本技能の定着を目指したい。また、基本的な知識を定着させる必要もある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の実態に合わせた補強運動等を継続的に行い、体力の向上を図る。 視覚化による明示等を通して、技能ポイントの理解を深め、その上で基礎・基本の反復練習を重視する。 効果的な教材を用いる等をして復習を大切にし、基礎知識を定着させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 技能向上のためにグループ活動を行わせる。互いの課題を発見し、学び合える環境をつくる。 個に応じた課題を与え、運動に対する意欲や関心を引き出すようにする。
2年	<p>体力の向上を図るとともに各種目の基本技能を身に付けさせる必要がある。そのために体育授業の補強運動等で体力を向上させることや、各種目において要点を明確にした実践を行い、基本技能の定着を目指したい。また、学習の振り返りで自己反省をさせ、課題に対して段階的に克服させたい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の実態に合わせた補強運動等を継続的に行い、体力の向上を図る。 視覚化による明示等を通して、技能ポイントの理解を深め、その上で基礎・基本の反復練習を重視する。 毎回、学習の振り返りで自己反省をし、課題を把握させに次時の目標を立てさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 技能向上のためにペアやグループでの活動を行わせ、互いの課題を発見し、解決できる環境をつくる。 個に応じた課題を与え、個人がもつ能力を引き出す。 発問の工夫等して生徒に自己の課題を明確にさせて、学習取り組めるようにする。
3年	<ul style="list-style-type: none"> 運動能力に二極化がみられるため、個々の段階に合わせた指導の実践を工夫する必要がある。 運動習慣が減った生徒が多いため、保健と体育の両分野から「健康」を実生活に結び付けて考えさせたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 互いに学び合い、課題解決に向けた話し合いと実践をさせる。また、個々の強みを生かした役割分担を明確にさせる。 端的な説明を心掛け、運動時間の確保に努める。また、実生活に結び付けた課題を与えるようにし、「健康」について考えさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 技能向上のためにペアやグループでの活動を行わせ、互いの課題を発見し、解決できる環境をつくる。 自己の課題を明確にし、主体的に学習させる。個に応じた課題を与え、個人が持つ能力を引き出す。 保健分野では正しい生活習慣を考え、実践させ、健康を維持させる。